



2015・8・1

第 211 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

党派を超えた力結集し 戦争法案を廃案に！

「法学者とのつどい」緊急企画

九条の会事務局は、8月12日の各地の九条の会からの参加者による「交流・討論集会」に先立って、一般からの参加も歓迎する「法学者と学生・市民のつどい」を開くことになりました。参加者からの質問に、法学者がさまざまな角度から答えるという形式をとります（要綱2頁参照）。積極的にご参加ください、

自民県議の呼びかけで反対組織

【広島県庄原市】 庄原市議会が6月30日、戦争法案に反対する決議を採択したことを受けて、これまで昨年7月の閣議決定を「立憲主義に反する」と批判してきた県議会自民党議連の小林秀矩県議が、この庄原市議会の議員全員20人に反対運動を呼びかけました。これには公明党市議1人を除く19人が賛同、7月31日、「ストップ・ザ安保法制 庄原市民会議」を結成しました。

会としては、戦争法案反対の署名運動を開始するとともに市民集会を開くなどして運動を広げるとともに、市民も参加できる組織づくりや、法案が成立した場合の訴訟運動も視野にいれるとしています。

九条の会呼びかけ人

鶴見俊輔さん死去

九条の会の呼びかけ人のひとりで哲学者の鶴見俊輔さんが、7月20日、肺炎のため死去されました。93歳でした。

鶴見さんは九条の会結成いらい、各地で開かれた九条の会主催の講演会に積極的に参加され、その歴史的体験に裏付けられた徹底した民主主義の思想を、独特のユーモアをもって語られていました。

昨年6月に開かれた「九条の会10周年講演会」には、病床から、「今、動けないのが、残念です。戦争への動きを止めなくてはなりません。九条の会に、思いを托します」とのメッセージを寄せられていました。

九条の会としては後日、「志をつぐつどい」を開く予定です。

反対決議踏まえ議員らが運動組織

【神奈川県鎌倉市】 鎌倉市では7月29日、「安全保障関連法案に反対する鎌倉市議

会議員・元議員有志の会」が、共産党や神奈川ネット、無所属などの現職9人と、自民党に所属していた人や保守系の人も含む元職25人で発足しました。

鎌倉市議会は7月1日、「安全保障関連法案の撤回を求める意見書」を13対10で可決。この決議をもとに、市民にアピールしようと元議員にもはたらきかけて「会」の発足となりました。

「会」は、市議会の意見書や鎌倉市平和都市宣言を刷り込んだチラシを作成、宣伝活動などに取り組むことにしています。

「会」の代表世話人になった市議会歴代議長会の和田猛美会長は、国会前での若者のたたかいや市議会の意見書に励まされたこと運動参加のきっかけを語り、「心一つに市民にアピールしたい」と述べています。

自民党市議の賛成で意見書採択

【宮城県大崎市】大崎市議会は戦争法案について、「国民が納得できる十分な審議を」との意見書を、賛成15、反対14で採択しました。自民党市議3人が賛成にまわった結果で、大崎九条の会は前日まで採択を危惧していました。

「前自民党古川支部長で、今も黨員」と自認する佐藤勝市議は、市議会の中でも意見書賛成の立場から演説、地元の河北新報（7月30日）にも「アメリカの要求を断ったことがない日本が、アメリカからの戦争参加要請を断れるのは9条があったからだ。この法律が成立すれば断ることができない」との一文を寄せています。

7月25日には大崎九条の会連絡会主催の「憲法9条違反の『安保法制』反対！大崎

<九条の会事務局主催>

戦争法案は廃案に！ 九条守れ 九条の会交流・討論集会

会期末に向けてどのような運動を展開するか、各地域・分野の九条の会による経験や意見を交流します。参加希望の方は、お名前、所属の九条の会、住所、電話・FAX番号を事務局までFAX・メール・郵便で御連絡下さい。

▽日時 8月12日（水）

午後6時～8時30分 参加無料

▽会場 東京しごとセンター

東京都千代田区飯田橋3-10-3

（JR、地下鉄東西線・有楽町線・南北線 飯田橋駅下車 徒歩10分）

九条の会事務局主催・民科法律部会協賛

「戦争法案」廃案に向けて 法学者と学生・市民のつどい

戦争法案のどこが問題か、学生や市民からの問いかけを受けながら憲法学をはじめ様々な分野の法学者が語り、交流します。

▽日時 8月12日

2時30分～4時30分 事前申込不要

▽会場 東京しごとセンター

▽出席予定 小澤隆一、渡辺治ほか民科法律部会会員の法学者多数。

のつどい」が開かれ、予定を上回る200人が参加。合併前の鹿島台町長だった鹿野文永さんが、「大都会だけでなく、大崎のような地域でも反対が強いことを伝えたい」と

あいさつしました。集会後、商店街をパレードしました。

緊急申し入れに市長から回答

【千葉県印西市】 印西・九条の会は、安倍内閣が衆院で戦争法案を強行採決した直後、板倉市長に安倍総理大臣に対し、「安全保障関連法案」の撤回・廃案を求めるよう「緊急申し入れ」をしましたが、市長から回答がありました。

＜回答＞本法案についても他の法案と同様、十分に論議していただくべきものであると考えます。印西市としては、非核平和都市宣言の精神にのっとり、核兵器の廃絶及び恒久平和実現のため、今後とも各種施策を通して、平和の尊さの周知に努めます。

「加茂の歴史が変わる」と地元紙

【新潟県加茂市】 7月20日、加茂・九条の会が呼びかけた「ストップ！戦争法案、9条壊すな」のパレードが行われ、出発集会には画期的な100人が参加、パレード最後には150人に膨れ上がりました。

市議会では九条の会などが提出した戦争法案反対の請願が、市議会の党派を超えた賛成によって採択されています。出発集会では民主党、共産党、社民党、無所属の議員らが決意表明を行いました。

1時間ほどかけて目抜き通りをパレード。地元紙は「加茂の歴史が変わる」と報道。

法案の強行採決に抗議の宣伝

【東京都八王子市】 東京都八王子市の地域の九条の会などでつくる「八王子市民パレード実行委員会」の市民ら人余が7月

18日、高尾山を訪れた観光客らに、戦争法案廃案を呼びかけました。行動参加者は手製のプラカードなどを手に、高尾山口の駅前や山頂で訴えました。親子連れや天狗の扮装をした参加者もいました。

9条の会八王子市内連絡会で世話役を務める土岐新さんは、国民の声にまったく聞く耳をもたない安倍政権と自公与党の対応を厳しく批判。「ともに声をあげ、戦争法案を廃案に追い込みましょう」と訴えました。

原爆ドーム前でも共同で

【広島県】 衆院本会議で戦争法案が強行採決された16日、広島市の原爆ドーム前で開かれた抗議集会には、約200人が参加しました。広島県9条の会ネットワーク、秘密法廃止！広島ネットワーク、戦争をさせないヒロシマ1000人委員会の3団体が呼びかけたもの。

秘密法廃止ネット共同代表の山田延廣弁護士は「安倍内閣の勝手な解釈改憲は、まさにナチスがやってきたことだ」と告発。参加者は「憲法を壊すな！」、「安倍政権を打倒しよう！」とシュプレヒコールしました。

集会後3カ所に分かれて宣伝し、「憲法違反」と書いたビラを配りました。自宅に防空壕があったという女性(71)は、「戦争になったら秩序もモラルもなくなる」と言い、介護職員の女性(35)も「戦争で国民の命をなくすことになりかねない」と懸念を表明しました。

自衛隊の演習場がある地域で高校生に

【滋賀県高島市】 高島市には、陸上自衛隊今津駐屯地や饗庭野演習場があること

から6月、高島市九条の会のメンバーを中心に、「若者を戦場に送らせない会」が結成されました。

「送らせない会」は7月6日、市内の県立高島高校前で、戦争法案反対の宣伝行動に取り組みました。「期末試験、お疲れさまでした。国会で審議されている戦争法案が通れば、若者が真っ先に戦場に送られます。いっしょに考えましょう」「来年の参議院選挙から選挙権が18歳以上になります。朝起きてから寝るまでの生活すべてに関わることが政治で決められます」と訴えました。

3年生の女子生徒は「戦争はいや。ピラを読みます」と話しました。

交流深め戦争法案廃案へ決意

【北陸ブロック】 九条の会の第6回北陸ブロック交流集会が7月12日、福井市の福井大学を会場に開かれ、福井、石川、富山3県から120人が参加しました。

小森陽一・九条の会事務局長が「止めよう『戦争法』なくすの『九条破壊』を許すな」と題して講演。「私たちの草の根の運動が第1次安倍内閣を倒した」と述べ、今回の暴走にたいしても国会議員、首長、地方議員への働きかけなど、九条の会の役割発揮を呼びかけました。

参加者は4つの分科会で活発に討論し、全体会では、富山県の20代の女性が「シール投票に初めて取り組んだ経験」を、福井県永平寺の会の女性は「保守系議員も巻き込んだ運動」について発言しました。

まとめを行った九条の会ふくいの屋敷絃美事務局長は、戦争法案の強行採決を許さない、たたかいを各地で進めましょうと呼

びかけました。

【愛知県】 あいち九条の会は7月25日、名古屋市内で「第11回愛知県下九条の会、学習・交流集会を開き、54の地域の会から90人が参加。学習の部では同会事務局次長の本秀紀・名大教授が「どうなる？ どうする？ 戦争法案」と題して講演しました。

活動交流では各九条の会から13人が発言。「これまでにない宣伝規模になっている」「草の根からの活動を広げていきたい」などの発言があいつぎました。

最後に加藤洪太郎事務局長がまとめをおこない、「世論が見えるように運動を広げ、考え方が違う人にどう接するかがカギ」と強調しました。

重大な局面に新たなスタート

【長野県坂城町】 2005年3月、22名の呼びかけによりスタートした「憲法9条を守る坂城町の会」。その年、128名の賛同人と1300筆の署名を集めました。その後、品川正治講演会や渡辺治講演会を町で開催、県開催の集会等への参加など活動してきましたが、広く住民に広げていく活動には至っていない中で、今日の重大な局面を迎えることになりました。

9条の会発足から10年、安倍政権の「戦争する国」への暴走がきわまる中、もう一度気を引き締め、気持ちを一つにしていこうと、各界の方々にお願ひし、9名の方が、坂城町9条を守る会の共同代表に就任されました。

坂城町9条の会の新たなスタートです。

(「坂城町9条の会会報」No1より)